

# 寺報

龍正寺

日なた 102号

七面大明神

そーて

お題目

日廷



<平成28年 11月>

宝龍会  
護持会

= 位 職の一言 七面大明神 報恩感謝

平成28年度に入って、11月を迎え寒くなつて  
来ました。

先月は体調不良により、お会武会を11月13日に  
変更させて頂きました。

病名は胃潰瘍です、9日間入院生活をいたしました、  
体調は完全とは言えませんが、11月調良く回復しつ  
つあります、大変御迷惑をおかけいたしました。

これも9月の末に七面大明神のお山に登り、そのお  
かげで病気が見付き、また不思議な事に無理な  
所をお医者さんに見ていただくだけで、すぐに処置して  
もらった事は、七面大明神、妙法のお陰様で  
す。後になって考えてみると、もしお山に登っていな  
かったら、今ごろもっと大変な事がおきていたのだ  
はないかと思ひ、七面大明神に報恩感謝  
を申し上げるとともに、益々精進し来年には、お礼  
の登山をいたしたいと思つてあります。

七面大明神は右手に鎌をもち、左手には

宝珠の玉を持って おられす。

鍵をかたくな心の扉を開いて頂き、宝珠を下  
さします。

病気になる事で、今まで 体の事を考えていな  
つもりで いました。が、大きな勘違いをしていた事  
に気がつかさせて頂きました、気がつけたのも七面  
大明神が鍵で心を開けて下さったお陰です、  
そして宝珠を与えて下さったお陰で、今この様に  
元気に精進が出来る様になりました。

与えて頂いた事に報恩感謝して、今度は皆様に  
この妙法を伝えていきたいと思ひます。

皆々様も、お題目を唱え七面大明神の大きな下  
さる印總を いただいて下さいます。

合掌

南無妙法蓮華経

細川ガラシャの生き方を通して。

「散りぬべき時  
知りてこそ 世の中の  
花も花なれ  
人も人なれ」

細川ガラシャの辞世の句です。

意訳：花も人も散りときを心得てこそ美しい。

細川ガラシャは明智光秀の娘です。

細川忠興に嫁いたが、1582(天正10)年、明智光秀が、本能寺の変を起し、山崎の合戦で幽閉された。

1584年、秀吉の計らいで、忠興とガラシャは復縁し、ガラシャは大阪の細川家に戻った。キリスト教に入信したのは、1587年で、ガラシャの洗礼名もその時からである。関ヶ原の戦いに際し、石田三成から人質として大阪城に入ることを強要されたが、「承知せず」家老に胸を突かせて死に、細川家の面目を保った。

自分の人生に対して 受け入れ、覚悟を決めて人生を  
生きた 細川ガラシャのテレセを見て、人には罪を  
被せず(相手のせいにはせず)、自分の身に受ける  
という姿勢に 涙せずにはいられていました。

ふれない生き方ができたのは、信じるもの  
(キリスト教)があったからこそだと思います。

自分に教えられているようにでした。

この4年間 苦しんできましたが、言霊のせいでも  
なく自分であること、相手のせいにするのではなく、  
すべてを受け入れることが大事であること。

自分の身に受けることで、いろんなことが見えてきま  
した。自分が苦しみを知らなくて、このガラシャの辞世  
の句の生き方に対する思いがより理解できたこと  
と思います。

信じるもの(日蓮宗)があるということ、とても  
有難い事であると思ってきました。

**南無妙法蓮華経**

# 禍を転じて福とする

今秋は例年より寒暖の差がはげしいように思われますか、皆様ご体調はいかがでしょう？

私は今秋体調のすぐれない日々が続く中で、大きな事柄に気がかせて頂きました。

それは七面山参拝も終えて、久遠寺へ参拝に行っていた時でした。

久遠寺の大本堂の前の売店に立ち寄った時に、素敵プリントを見つけました。

「<sup>わざわい</sup>禍を<sup>てん</sup>転じて<sup>ふく</sup>福とする、(身延山第九十世岩間日勇法主「共に生き、共に榮える」より。

その内容を読んでみると、眼からうるこでした。

病気の心で、病気をみつけていた事に気づきました。

病気のおかげで、睡眠・食生活・運動など全てに対して健康管理が出来ていない事に気づく事が出来ました。

「このぐらいは...」自分に対して都合の良い方へ考えて生活していた事が病気の原因を作っていたのです。

それだけではありません。心も体同様でした。

“御題目を唱えているから…。守護して頂いているから大丈夫!!”と自己中心で傲慢な心でいた事に気がつく事が出来ました。

“そうではありません!!” いっまでも御題目を唱え、続けられる丈夫な体を作っていかななくてはいけないのですよね。他力本願になっていました。

自分の体です。自己の体と心を振り替える事が出来ました。そして、元気で日々の暮らしに感謝して行く事で、幸せに満ち溢れた生活が出来ると思います。

その満ち溢れた生活の“身心の安定”それは法華経と共に生きていく中で得る大切な学びにあります。

今年も残すところ二ヶ月ですが、御題目を唱えて、身心共に喜び俵せをかみしめて過ごしたいと思います。

# — 言 だま 霊 —

先日、学校行事でリンパマッサージの講座に参加させてもらいました。リンパのつまりを取って「痛い!!」と感<sup>じ</sup>ることもありましたが、とにかく講師の先生が明るく前向きなのがとても印象的だったのを覚えています。体をさすって言葉をかけるだけでも調子は良くなっていくと言われ、肌の調子が悪いと感じるなら毎日やさしく肌をさすりながら「いつもありがとう♡ ツルツル♡!! セカセカ♡!!」と声をかけると数週間でお肌がツルツルになってくるそうです。ある実験で、ヨーグルトに毎日「おはよう♪」と「バカ野郎!!」と2通りの声かけを続けた結果、バカ野郎と言われ続けたヨーグルトの方が早く腐ってしまったそうです。

これと同じような内容が毎月のお守りと一緒にご頂<sup>く</sup>新聞にも載っていました。同じように「ありがとう♡」「バカ野郎!!」の声かけと、何にも声をかけないの3通りです。結果は何も声をかけなかったも



の口。一番早く腐、てしま、たことのでした。少し驚き  
ましたか。続けてこう書かれていました。「バカ野郎!!」  
と言われるという事は、少なくとも関心があるからで、  
本当に関心があるなければ、何の感情も湧かたないよ...

言葉は <sup>ことば</sup>言霊といわれます。私達の体も明るく前  
向きな言葉をかけてもらえると、素敵に変化してくれ  
るんですね 😊 自分だけでなく、周りの人達、家族  
にも、沢山の言葉をかけていきたいと思ひます。特に  
身近な関係になる程、分かっているからいい、分かって  
くれるだろうと考へがちですが、これはトラブルのもと  
です。素敵な声かけをたくさんしていると、きっと  
自分にも返ってきて、生き生きとした楽しい生活  
が送れるような気がします。

早いもので今年もあと2ヶ月を切りました。年末の  
大清掃をしてながら、「雨、風から私達を守ってくれ  
てありがとう♡来年もお願ひします」と声をかけたい  
と思ひます。

勿論、仏様、ご先祖様には日々感謝。

「南無妙法蓮華経」

# < 11月行事予定 >

11月13日(日) 10:00~ 読誦会  
13:00~ 報恩御会式会  
小松原法難会

18日(金) 10:00~ 鬼子母尊神 ) 祈禱会  
七面大明神

# < 11月住職の予定 >

11月9日(水) 13:30~ 金華山お題目塚  
法要

# < 11月の予定 >

11月1日(火)	各々の時間で	清掃、準備
↓	↓	↓
12日(土)	10:00~	飾り付け
13日(日)	大祭後	片付け、準備
14日(月)	各々の時間で	清掃、準備
↓	↓	↓
17日(木)		